

高校図書館による企画

見る・知る・楽しむ 高校図書館

◆ 企画

今回で13回目となる「図書館と県民のつどい埼玉 2019」は令和元年 12月 15日(日)、桶川市民ホール・さいたま文学館で開催されました。

今年度は、多くの来場者に高校図書館についてもっと知っていただきたいと考え、「見る・知る・楽しむ高校図書館」をテーマとすることにしました。「資料展示」「体験・交流コーナー」を企画の柱として、以下の5つを企画しました。

- ① 高校図書館かいぼうずかん
- ② 体験！図書館ゲーム部！！ Ver.2
- ③ クリアファイル de しおり！？
(しおり作り体験)
- ④ 埼玉県推奨図書
- ⑤ 埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本

◆ 準備

高校図書館部会では今年から実行委員会の運営体制に変更があり、県立高校同士の地区ネットワークの持ち回りで準備を担当することになりました。そのため、近隣の高校を会場に実行委員会を開催する機会が増えました。また、定例のネットワーク会議を利用して、企画の準備を進めることができました。

- ・合同実行委員会 7/12(金) 桶川市民ホール・さいたま文学館
実行委員顔合わせ、今後のスケジュール、展示会場の割り振り等
- ・第1回 7/12(金) 桶川市民ホール・さいたま文学館
展示テーマ、企画内容の検討、係決め、レイアウト検討等

- ・第2回 10/8(火) 桶川市民ホール・さいたま文学館
会場下見、各企画の進捗状況、前日・当日のスタッフ割り当て
- ・第3回 11/29(金) 久喜高校
前日・当日の流れ、分担・シフト等の確認
- ・第4回 1/20(月) 白岡高校
総括、会計報告、次年度企画等

◆ 前日・当日

前日は7名の実行委員の他に13名が参加し、備品の設置・各企画コーナー作り、会場の装飾を行いました。今年はピンクと青をテーマカラーと決め、布やボードの色を統一した装飾を行いました。展示パネルを利用した展示の準備や、体験企画ではボードゲームの進行練習などに時間を割きました。

当日は29名のスタッフで来場者への展示案内、しおり製作やゲーム体験の説明、誘導等を行っていきました。記念講演終了後から展示終了の時間まで大変多くの来場者があり、高校図書館部会の展示に興味を持っていただけました。今年は本の展示企画だけでなく、写真で高校図書館の様子を紹介する企画を行いました。また、昨年に引き続いて実施したボードゲームやしおり製作の体験コーナーでは、小さなお子様を中心に多くの方に楽しんでいただけました。



・会場装飾について

今年は「高校図書館をのぞいてみよう」をテーマにして、いまだきの高校図書館の様子を伝えられるような装飾を作成しました。飾られた「数字で見る高校図書館 2019」やいろいろな高校図書館の写真を、立ち止まり、じっくりと見てくださっている来場者が大勢いました。

また、今年の会場装飾では、高校図書館による企画全体の統一感を出すために、テーマカラーのほかに、ロゴの作成、共通デザインの看板などの使用といった工夫も行いました。

どれも初めての試みでしたが、企画全体のまとまりがよくなったほか、各企画における省力化にもつながったため、よい結果が出たと思います。



昨年に引き続き展示会場全体でのスタンプラリーも実施しました。各展示会場を巡ってスタンプを集めると、プレゼントがもらえる企画です。

高校図書館部会のスタンプポイントでは、独自に新聞エコバッグを配布しました。



◆ 各企画について

①高校図書館かいぼうずかん

いろいろな高校図書館の様子をお見せして、埼玉県の高校図書館のことを知ってもらう！ということで、さまざまな高校図書館の写真を、解説コメントと一緒に展示しました。

「本と人をつなぐ」「学びを支える」「楽しいしかけ」「さまざまなコーナー」という4つのテーマで写真を募集したところ、実行委員のいる地区を中心に、35校の高校図書館から、208枚の写真が集まり、バリエーション豊かで、見ていて楽しい展示になったと思います。



②体験！図書館ゲーム部！！ ver. 2

今年もボードゲームの体験卓と展示を用意しました。展示には「図書館向け」「人数別」のオススメゲームをそれぞれ5つ用意し、紹介リストを配布しました。パネル展示では、ボードゲームの利活用について紹介しました。体験卓では8つのゲームを用意し、来場者に実際に遊んでももらいました。

体験ゲームは、対象年齢やプレイ時間別に用意し、家族連れから大人まで楽しんでいただけのように工夫しました。



③クリアファイルdeしおり!?

図書委員の活動でもメジャーなしおり作りの体験コーナーです。内容は昨年同様クリアファイルを使用したものですが、プレゼントの配布をなくし、高校図書館の文化活動を体験してもらうことに重点を置きました。使用するファイルは事前に高校図書館司書で分担して切り分けました。

当日は小さなお子さんから年配の方まで、さまざまな方がパーツやマスキングテープを真剣に選び、楽しんでしおり作りを体験されていました。



④埼玉県推奨図書

令和元年度推奨図書(県青少年課より借用) 30冊に本のPOPを付けて展示し、来場者に手に取ってご覧いただくことができました。

また、県青少年課からのチラシ「令和元年度埼玉県推奨図書」「埼玉県推奨図書が決まるまで」「令和2年度埼玉県推奨候補図書を募集しています」の3種類を配布しました。

令和2年度候補図書の応募を受け付けるとともに、来場者から推奨図書についてご要望等を伺い、青少年課にお伝えしました。



⑤埼玉の高校図書館司書が選んだイチオシ本

その年一年間の新刊から「高校生に読んでほしい本」を高校司書が選ぶ「イチオシ本」も2019年版(2020年2月発表)で10回目を迎えます。11月にはこれまでの活動が評価され、特定非営利活動法人「IRI 知的資源イニシアティブ」様主催の「ライブラリーオブザイヤー」でライブラリアンシップ賞を受賞しました。

ブースでは受賞した際のトロフィーや2018年版ベスト10と過去の1位を展示し、本企画の歴史と今後の展望をお伝えしました。



◆ おわりに

昨年の展示企画では、来場者に楽しんでいただけるよう体験コーナーに力を入れましたが、高校図書館の実情を知ってもらうような企画ができませんでした。今年はその反省を活かして、高校図書館をPRできる企画に取り組みました。展示会場への来場者も年々増加する傾向にあり、多くの県民のみなさまに高校図書館について知ってもらうきっかけになったのではないかと思います。

高校図書館部会の実行委員会の運営方法が変わったため、今後はこれまでこのイベントに関わったことのない司書が準備を担当していくこととなりますが、より一層高校図書館の魅力伝えるような企画を準備していけたらと思います。

(記録:埼玉県立久喜工業高等学校 渡辺 智紀)

